

駒の子短歌

No.31 令和3年9月30日(木) 佐久市立望月小学校

9月30日(木)、5年生が稲刈りを行いました。5月の代掻きに始まり、お田植え、草取り、観察、水の管理などを頑張ってきて、実ったお米です。

子どもたちは一株一株に手応えや喜びを感じながら稲を刈り、束ね、ハゼにかけました。刈ることに比べて、束ね・縛ることは丁寧さや根気が必要で、子どもたちは苦勞していました。ですから、穂がかない散らばってしまいましたが、一本一本根気よく拾い、束ね、ハゼにかけて稲刈りを締めくくりました。

天候に恵まれ、心地よく汗をかくことができました。



ザクツという音が気持ちいいよ。



一本一本、大切な命だ。しっかり拾いたいな。でも、疲れるなあ。

手応えに 喜び感じ 稲を刈る

一粒(ひとつ)の命 落ち穂を拾い